

A・Q・U・A Rise

美しい水を未来へ

池田市上下水道ビジョン

美しい水を未来へ

池田市は、人口10万人という小さな都市ではありますが、全国さらには世界に誇れる「事始めのまち」です。日本初の「建売分譲」「長期割賦」方式による住宅販売や、世界初のインスタントラーメンの発明など、先人達が築いてきた進取の気風を受け継ぎ、現在、日本初、池田発の地域分権制度の充実に取り組んでいます。気風の継承は、衛生的で快適な日常生活には無くてはならない水道・下水道施設の整備においても例外ではありません。早くよりその整備に着手し、自前の浄水場と下水処理場を有しています。これは、10万人規模の都市としては全国でも珍しい存在といえます。

しかし、早くから取り組んできたが故の施設の老朽化、お客様ニーズの多様化、頻発する自然災害、さらには社会情勢の激変など、今後、上・下水道事業は乗り越えていかなければならない多くの課題を抱えています。

池田市では、平成21年4月より上水道と下水道部局を統合して上下水道部とし、水循

環全体にわたって管理していくことといたしました。そして、山積する課題を解決し、事業を将来にわたって途切れることなく継続していくための方針・方策をお示しするため、ここに「上下水道ビジョン」を策定いたしました。ビジョンでは、安定・安心・持続・環境という四つの側面から現状と課題を分析し、上下水道事業の「めざすべき姿」を示しています。今後は、このビジョンに基づいて、一步一步確実に事業を進めてまいります。

かつて「水と空気はただ」と言われた時代もありました。しかし、今や、「水は限られた資源、お金のかかる資源」というのが常識であり、私たちは、水循環を創造することによって、美しい水を未来へつなげていかなければなりません。そのためには、皆様方一人ひとりに、水の大切さを今一度認識していただくとともに、思いやりを持って水に接していただくことが欠かせません。ビジョンの実現に向けて、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成23年(2011年)

池田市上下水道事業管理者

嶋 俊秀

第1章 池田市上下水道事業の沿革

1 沿革	1
(1) 水道事業	1
(2) 下水道事業	3
2 主な上下水道施設の概要	5
(1) 古江浄水場	5
(2) 配水池	6
(3) 下水処理場	9

第2章 池田市上下水道事業の現状と課題

1 需要の動向	13
(1) 給水人口、下水道処理人口	13
(2) 給水量	14
(3) 下水処理水量(池田市下水処理場)	15
2 上下水道事業の現状と課題	16
(1) 安定	16
1) 水源の安定性	16
2) 耐震化の進捗状況	17
3) 危機管理体制	18
4) 漏水防止	19
5) 悪質下水対策	19
6) 運転管理	20
(2) 安心	21
1) 給水水質	21
2) 水質管理	22
3) 給水装置の状況	23
4) 合流式下水道の改善	25
5) 下水道普及率、水洗化率の向上	25
6) 浸水対策	26
7) 水質保全	26
(3) 持続	27
1) 事業経営	27
2) 施設の効率性、老朽化施設等の更新	36
3) 市民サービス	37
(4) 環境・エネルギー対策	38
1) 資源の有効利用	38
2) 環境対策	38

第3章 池田市上下水道事業のめざすべき姿

1 基本方針	39
(1) 基本目標	39
2 施策体系	40
3 目標の実現に向けて	41
(1) Always	41
いつでも安定した水循環を提供するために	
1) 水源の安定性の維持	41
2) 施設の耐震化	41
3) 危機管理体制の充実	42
4) 漏水防止対策	42
5) 悪質下水対策の強化	42
6) 下水道の管理	42
(2) Quality	43
健全な水循環を保つために	
1) 給水水質の向上	43
2) 水道の水質管理体制の充実	43
3) 下水処理場の水質管理体制の充実	43
4) 給水装置の向上	43
5) 合流式下水道の改善	44
6) 下水道普及率及び水洗化率の向上	44
7) 浸水対策の推進	44
8) 放流先の水質保全	44

(3) Up	45
強固な運営基盤を維持するために	
1) 強固な事業経営の確保	45
2) 施設の効率化、老朽化施設の更新	45
3) お客様サービスの充実	46
(4) Adapt	47
環境にやさしい水づくり・水処理のために	
1) 資源の有効利用	47
2) 環境対策	47
3) 蛇口回帰	47

資料編

◆用語解説	49
-------	----

